

日本脳炎第1期の定期接種が未完了の人へ

日本脳炎の予防接種は、第1期(3回)、第2期(1回)を合わせて計4回の接種をして免疫を獲得する予防接種です。母子健康手帳をみて、お子様がどこまで接種しているか確認しましょう。不足分に関しては医師とご相談の上、接種を検討してください。9歳から12歳までの間は日本脳炎第2期の予診票を優先して使用し、公費での接種を行ってください。それ以降の接種は、医療機関においてある予診票をお使い下さい。

《日本脳炎 定期接種の方法》

対象年齢	回数	標準的な接種年齢	接種方法	
<1期> 生後6月～ 7歳6か月に 至るまで	1回目	3歳	生後6月～7歳6か月に至るまでに接種	基礎免疫を獲得 3回接種後、5～10年間 免疫を維持します
	2回目	3歳	1回目終了後6日以上、 標準的には28日までの間隔において接種	
	3回目 (追加)	4歳	2回目終了後6か月、 標準的には1年の間隔をあけて接種	
<2期> 9歳以上 13歳未満	4回目	9歳	今回(9歳)送付された予診票を使用し接種	免疫が低下してくるため 1回接種して抗体を 上昇させます

対象となる年齢を過ぎてからの接種は全額自費での任意接種となります。

《規定どおりに基礎免疫を行うことができなかった場合における任意接種の考え方の参考例》

基礎免疫：3回接種が必要です。

下表を参考に、医師とよくご相談ください。

接種状況	接種間隔の例
今までに1度も接種していない	6日以上の間隔 (標準的には6～28日の間隔)で2回。 6か月以上(標準的にはおおむね1年) あけて1回追加。
1回目  6日以上 2回目  6か月以上おおむね1年 3回目 	
今までに1回を接種している (第1期1回のみで1年～数年が経過した場合)	①1回接種して次の年に1回接種する。 ②6日以上の間隔(標準的には 6～28日の間隔)で2回接種する。
1回目  ① 1年～数年経過 2回目  次の年に 3回目 	
1回目  ② はやめに免疫をつけたい場合 1年～数年経過 2回目  6日以上 3回目 	
今までに2回を接種している (第1期初回2回完了後2年以上経過した場合)	1回接種する。
1回目  2回目  2年以上経過 3回目 	

3回接種をした人は、最後の接種からおおむね5年から10年毎に1回接種することで、日本脳炎の発症を予防することが可能なレベルの抗体が維持されることが期待されています。4回目の接種時期については、医師とよくご相談の上、ご検討ください。